

平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場会社名 株式会社城南進学研究社 上場取引所 東
 コード番号 4720 URL http://www.johnan.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下村 勝己
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 杉山 幸広 (TEL) 044-246-1951
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,380	6.4	245	△22.6	271	△21.4	188	△25.5
27年3月期第2四半期	3,178	—	316	—	345	—	252	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 171百万円(△35.1%) 27年3月期第2四半期 264百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	23.41	—
27年3月期第2四半期	31.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	6,170	4,411	71.2
27年3月期	6,229	4,319	69.1

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 4,390百万円 27年3月期 4,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年3月期	—	0.00			
28年3月期(予想)			—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,657	7.7	354	11.8	410	6.8	313	6.7	38.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社、除外 一社
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	28年3月期2Q	8,937,840株	27年3月期	8,937,840株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	884,647株	27年3月期	884,647株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	28年3月期2Q	8,053,193株	27年3月期2Q	8,053,193株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(1) 販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融緩和の効果がもたらした企業収益や雇用情勢の改善などにより、緩やかな回復基調がみられるものの、消費増税後の節約マインドと中国をはじめとする海外景気の下振れ懸念を含んだまま先行き不透明な状況で推移してまいりました。

当業界におきましては、政府の推し進める教育改革を背景に保護者の教育ニーズが広範囲に及ぶに従って、新規事業やコンテンツの開発競争が激化しております。

このような状況で当社グループは、総合教育企業として、全事業領域間の連携を強化するとともに、自ら問題を発見し他者と協力して解決していくための資質や能力を育むために乳幼児から社会人にわたって新たな教育理念の構築に注力してまいりました。

乳幼児部門におきましては、「くぼたのうけん教室」が幼児クラスカリキュラムの多様化を図ることによって顧客層の広がりに応え、生徒数も500名を超えるに至っております。幼児英語教室「ズー・フォニックス・アカデミー」では、地域の浸透度が高まり、第2四半期連結累計期間では第1四半期連結累計期間を上回る集客を実現させました。地域の評価が定着した東京都認証保育所「城南ルミナ保育園立川」も0～2歳児の在籍数がいずれも2桁台に乗り、次年度継続者数増が期待されております。

小学生から高卒生までを対象とする個別指導部門では、懸案だった直営教室における小学生の集客が前年比20%以上の伸びを実現させ、顧客の長期在籍化を推進しております。個別指導フランチャイズ部門におきましては、当第2四半期連結累計期間に6教室を開校し、複数教室を開校するオーナーも着実に増加しています。

市場の縮小が進んでいる予備校部門におきましては、特別指導である夏期合宿や演習に特化した「THE TANREN」等で生徒の学力アップを強化するとともに単価上昇を図ってまいりました。また、前期に立ち上げた医学部進学専門塾「城南医志塾」と将来のキャリア指針まで組み込んだ「城南AO推薦塾」におきましても想定通り意欲のある受講生を集め着実に指導実績をあげております。

また、今やライブ授業に匹敵する集客力を誇る映像授業部門では大幅に生徒数を増やしております。

さらに大学生を対象とした就職サポート事業「城南就活塾」では著名企業への高い内定実績を上げ、来々春卒業生からの問い合わせも始まっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、3,380百万円(前年同期比6.4%増)、営業利益が245百万円(同22.6%減)、経常利益が271百万円(同21.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益が188百万円(同25.5%減)となりました。

なお、当社グループは教育関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の総資産につきましては、6,170百万円となり、前連結会計年度末に比べ59百万円減少いたしました。これは主に有価証券の減少が40百万円、投資有価証券の減少が18百万円あったことなどによるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末の負債につきましては、1,759百万円となり、前連結会計年度末に比べ150百万円減少いたしました。これは主に流動負債「その他」に含まれる未払金の減少が175百万円あったことなどによるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末の純資産につきましては、4,411百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加が108百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、本資料発表日現在において、平成27年5月15日に発表いたしました数値から変更はありません。なお、本日別途公表いたしました「株式会社久ヶ原スポーツクラブの株式取得(子会社化)に関するお知らせ」の通り、当該子会社異動後の当期の連結業績に与える影響につきましては現在精査中であり、確定次第速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,841,720	1,840,352
売掛金	146,449	166,667
有価証券	90,000	50,000
商品	43,973	58,175
繰延税金資産	64,487	64,903
その他	260,007	228,585
貸倒引当金	△14,492	△6,957
流動資産合計	2,432,145	2,401,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	808,337	812,745
土地	835,421	835,421
その他(純額)	79,363	85,290
有形固定資産合計	1,723,122	1,733,456
無形固定資産		
のれん	141,857	132,400
その他	129,906	128,040
無形固定資産合計	271,764	260,441
投資その他の資産		
投資有価証券	327,652	309,369
敷金及び保証金	833,591	834,707
投資不動産(純額)	476,253	474,835
その他	179,003	169,643
貸倒引当金	△14,027	△14,027
投資その他の資産合計	1,802,473	1,774,528
固定資産合計	3,797,360	3,768,426
資産合計	6,229,506	6,170,153
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,951	41,695
未払法人税等	61,736	86,465
前受金	463,753	470,292
賞与引当金	30,616	36,276
校舎再編成損失引当金	3,787	3,742
資産除去債務	4,598	23,458
その他	664,283	440,056
流動負債合計	1,240,725	1,101,987
固定負債		
退職給付に係る負債	257,220	272,216
資産除去債務	315,469	300,002
繰延税金負債	41,196	32,085
その他	55,046	52,781
固定負債合計	668,932	657,085
負債合計	1,909,658	1,759,073

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	655,734	655,734
資本剰余金	652,395	652,395
利益剰余金	4,143,186	4,251,186
自己株式	△309,420	△309,420
株主資本合計	5,141,896	5,249,895
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	62,650	43,264
土地再評価差額金	△902,493	△902,493
その他の包括利益累計額合計	△839,842	△859,229
非支配株主持分	17,794	20,414
純資産合計	4,319,848	4,411,079
負債純資産合計	6,229,506	6,170,153

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,178,057	3,380,609
売上原価	2,167,544	2,339,349
売上総利益	1,010,513	1,041,260
販売費及び一般管理費	693,540	795,957
営業利益	316,972	245,302
営業外収益		
受取利息	1,786	1,411
受取配当金	6,252	6,709
受取賃貸料	19,984	19,800
その他	8,642	6,463
営業外収益合計	36,665	34,385
営業外費用		
支払利息	111	130
不動産賃貸原価	7,806	7,723
営業外費用合計	7,918	7,853
経常利益	345,720	271,834
特別損失		
減損損失	908	1,060
固定資産売却損	9	-
固定資産除却損	947	65
校舎再編成損失	-	910
校舎再編成損失引当金繰入額	1,142	3,742
特別損失合計	3,007	5,778
税金等調整前四半期純利益	342,712	266,055
法人税、住民税及び事業税	84,574	75,320
法人税等調整額	1,107	△415
法人税等合計	85,681	74,904
四半期純利益	257,031	191,150
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,106	2,619
親会社株主に帰属する四半期純利益	252,924	188,531

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	257,031	191,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,778	△19,386
その他の包括利益合計	7,778	△19,386
四半期包括利益	264,809	171,763
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260,702	169,144
非支配株主に係る四半期包括利益	4,106	2,619

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	342,712	266,055
減価償却費	71,965	76,873
減損損失	908	1,060
のれん償却額	9,457	9,457
貸倒引当金の増減額(△は減少)	8,630	△7,535
賞与引当金の増減額(△は減少)	22,859	5,659
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	18,360	14,996
校舎再編成損失引当金繰入額	1,142	3,742
受取利息及び受取配当金	△8,039	△8,121
支払利息	111	130
為替差損益(△は益)	△2,115	△354
前受金の増減額(△は減少)	23,705	6,538
たな卸資産の増減額(△は増加)	13,320	△7,370
買掛金の増減額(△は減少)	△891	29,744
売上債権の増減額(△は増加)	△96,379	△20,217
未払金の増減額(△は減少)	△62,141	△149,323
固定資産売却損益(△は益)	9	-
固定資産除却損	947	65
その他	114,948	△48,058
小計	459,512	173,343
利息及び配当金の受取額	7,981	8,519
利息の支払額	△111	△130
法人税等の支払額	△46,001	△50,782
営業活動によるキャッシュ・フロー	421,381	130,949
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	101,313	△24,816
有価証券の取得による支出	△100,000	△100,000
有価証券の売却及び償還による収入	100,000	140,000
有形固定資産の取得による支出	△64,123	△72,120
有形固定資産の売却による収入	1	-
無形固定資産の取得による支出	△17,829	△24,208
投資有価証券の取得による支出	△20,400	△11,223
投資有価証券の売却及び償還による収入	290	1,599
敷金及び保証金の差入による支出	△5,748	△6,216
敷金及び保証金の回収による収入	11,676	23,544
その他	△4,552	1,986
投資活動によるキャッシュ・フロー	627	△71,455
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△3,690	△5,850
配当金の支払額	△64,197	△80,183
財務活動によるキャッシュ・フロー	△67,888	△86,033
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,115	1,178
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	356,236	△25,360
現金及び現金同等物の期首残高	1,238,656	1,838,691
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,594,892	1,813,331

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

当社グループは、教育関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

当社グループは、教育関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

部門別	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
	金額	金額
予備校部門(現役高校生)	1,174,303	1,150,457
予備校部門(高校卒業生)	391,696	347,870
個別指導部門(直営)	875,910	948,598
個別指導部門(FC)	147,720	169,274
映像授業部門	336,492	453,565
デジタル教材・乳幼児教育部門	234,085	250,302
その他	17,848	60,541
合計	3,178,057	3,380,609

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。